



町政を問う

質問者



松本一二美 議員

問

障害者自立支援
作業所の設置を

障害者も安心して暮らせるまちづくりをとの視点でみると当町には「障害者自立支援作業所」はなく、他の自治体でお世話になっている。

在宅の障害者、養護学校等へ通っている子供達の将来のためにも、当町に「障害者自立支援作業所」の早期新設の実現を求む。

答

新たな民間授産施設
への援助は可能

答弁 白石町長

平成12年4月より、心身障害者自立作業所は、松前町総合福祉センターで実施しています。

定員20名に対し 現在利用

者 5名

町外の施設へ入所者 2名
町外の施設へ通所者 4名
希望者及び待機者はなしで、作業所の定員に対し余裕もある。今のところは「障害者自立支援作業所」をつくることは考えていません。

ただし、県の定めてある障害者福祉施策重点計画に基づいて、町内に新たな授産施設を開所しようという法人等があれば、町としても側面から援助していきたいと思えます。

問

塩屋海岸にトイレ
シャワールの設置を

松前町を代表する行事の一つ、はんぎり競漕でもにぎわった「塩屋海岸」に常設のトイレ、シャワールの早期設置を求む。

答

今後さらに検討を
答弁 白石町長

海岸を訪れる人たちの人数意見を踏まえて、今後の検討課題にします。

行政上の問題があり建設は無理ですが、イベントのときの仮設トイレは設置します。

問

県道危険箇所
信号の設置を

松前郵便局前交差点は、事故が多発している。

二名神社北側県道は通学路になっているが、交通量が多く横断できにくい状況で、危険箇所になっている。信号機の早期設置を求む。

答

信号設置を県へ要望
答弁 白石町長

松前郵便局前交差点については事故の発生状況、住民からの要望を把握します。二名神社北側の県道については、学校とも協議をして設置する信号機の種別なども検討して要望していきます。



塩屋海岸 はんぎり

問

除草並びに水路に
フタを

農地でありながら雑草が繁茂し、地域住民が困っている。地主に対して早期除去の対応は、どうされているのか伺います。

その農地に関連して夜危険な水路にフタの設置を求む。

答

粘り強く指導
答弁 白石町長

個人の土地であるために、本人の了解なく行政が勝手に入って雑草を除去するということはできません。しかし放置していくこともできないと思いますので今後も地元の人たちと連携を取りながら、粘り強く指導していきます。

農水路のため、今のところフタをすることはできません。



松前郵便局前